

代表者名	伊藤 富彦	所管部課名	農林水産部畜産振興課
所在地	秋田市河辺神内字堂坂2-1	設立年月日	昭和53年6月6日

【沿革及び県の出資理由】

秋田県における肉畜及び食肉流通の合理化を図り、もって畜産農家の経営安定と県民生活の向上に寄与する事を目的に、昭和53年6月6日に設立。と畜という広域的かつ公共的な事業を行う会社であることから、県も出資した。

【出資者】（24年度当初）

(千円、%)

区分	団体数	出資額	構成比
秋田県	1	445,710	33.8
市町村	25	16,000	1.2
その他	6	857,990	65.0
計	32	1,319,700	100.0

【事業】

①主たる業務

1,肉畜のと殺、解体。 2,枝肉及び副生物の買い取り並びに受託処理加工。 3,食肉及び副産物の加工並びに貯蔵販売。 4,前各号に付帯する一切の事業。 5,加工品の製造販売に関する事業。

②事業実績

(頭)

事業名等	21年度	22年度	23年度
豚と畜頭数	159,577	156,211	153,258
豚カット頭数	68,712	65,648	59,120

③23年度事業概要及び24年度事業計画・目標

<平成23年度事業概要>

豚と畜153,258頭、牛馬と畜4,383頭、豚カット59,120頭、牛馬カット1,035頭、枝肉・加工品販売高5,960百万円、総売上高6,407百万円

<平成24年度事業計画>

豚と畜165,000頭、牛馬と畜4,150頭、豚カット72,000頭、牛馬カット1,000頭、枝肉・加工品販売高6,081百万円、総売上高6,552百万円

【組織】

①役員数 (H24.7.1現在)

(人)

	取締役	監査役
常勤	3	1
内、県退職者		
内、県職員		
非常勤	7	2
内、県退職者		
内、県職員		
計	10	3
内、県関係者		

②職員数 (H24.4.1現在)

(人)

	人数	正職員平均年齢	正職員平均勤続年数
正職員	54		
内、県退職者			
出向職員	2	42.2歳	15.8年
内、県職員			
臨時・嘱託	5		
内、県退職者			
計	61	正職員平均年収	4,240千円
内、県関係者	0		

役員報酬支給対象者数	4人
役員報酬支給対象者平均年齢	56歳
平均役員報酬額	3,600千円/年

【財務】

①損益状況 (23年度)

(千円)

	金額
経常収入 A	6,420,328
受託事業収入	1,206
補助金収入	653
自主事業収入	6,379,543
運用益収入	0
その他	38,926
経常支出 B	6,430,518
人件費 (役員含む)	327,780
その他	6,102,738
経常損益 C = A - B	△ 10,190
経常外収入	18,804
経常外支出・諸税	22,791
当期損益	△ 14,177

県の損失補償額	県の債務保証額
---------	---------

②財務状況 (23年度末)

(千円、%)

	金額	構成比
流動資産	971,430	58.3
固定資産	693,526	41.7
資産計	1,664,956	100.0
流動負債	258,187	15.5
短期借入金	2,616	0.2
固定負債	147,786	8.9
長期借入金	1,740	0.1
負債計	405,973	24.4
資本金	1,319,700	79.2
剰余金	△ 60,717	△ 3.6
純資産計	1,258,983	75.6
負債・純資産計	1,664,956	100.0

	要支給額	引当額	引当率
退職給与引当状況	175,643	92,099	52.4%

※外部積立(中小企業退職金事業団83,544千円)

【県の財政支出】

(千円)

	21年度	22年度	23年度	支出目的・対象事業概要等
補助金			653	秋田県産牛肉消費アップ緊急対策事業
委託費			1,206	秋田県産牛肉の放射性物質検査に係るカンパリク等業務委託
貸付残高				

1 主な経営指標

項目		単位	21年度	22年度	23年度	21-22増減	22-23増減
健全性	自己資本比率	%	71.64	78.01	75.62	6.37	△ 2.39
	借入金依存率	%	8.71	0.43	0.26	△ 8.28	△ 0.17
	流動比率	%	359.81	415.86	376.25	56.05	△ 39.61
	経常収入額	千円	6,799,384	7,113,816	6,420,328	314,432	△ 693,488
収益性	剰余金(△欠損金)	千円	△ 68,578	△ 46,539	△ 60,717	22,039	△ 14,178
	経常利益率	%	0.78	0.82	△ 0.16	0.04	△ 0.98
	総資本利益率	%	3.05	3.56	△ 0.61	0.51	△ 4.17
効率性	総資本回転率		3.89	4.36	3.86	0.47	△ 0.50
	職員1人当たり経常収入	千円	115,244	120,573	108,819	5,329	△ 11,754
	人件費比率	%	4.96	4.64	5.11	△ 0.32	0.47

2 経営目標の達成状況

経営目標			21年度	22年度	23年度	24年度
経営改善指標	剰余金(千円)	目標	△ 66,000	△ 45,000	△ 20,000	△ 40,000
		実績	△ 68,578	△ 46,539	△ 60,717	
経営改善指標	借入金残高(千円)	目標	152,108	110,624	4,399	2,652
		実績	152,108	6,972	4,356	
事業成果指標	と畜頭数(豚換算:頭)	目標	175,750	175,050	175,050	177,450
		実績	173,602	169,705	166,407	
事業成果指標	カット頭数(豚換算:頭)	目標	92,500	92,500	92,500	82,000
		実績	79,303	75,633	69,465	
顧客満足度指数		目標	80	80	87	87
		実績	100	80	68	

3 経営状況及び課題、経営目標の達成状況についての自己評価

1. 経営状況及び課題

東日本大震災の影響でと畜頭数の落ち込み、放射性セシウムの風評被害、豚枝肉相場の低迷等により、生産者の一部廃業や重油・LPG等を含む光熱費の高騰などにより収益環境が悪化した。

今後、豚と畜頭数確保が課題となるほか、引き続き販売先の確保と債権管理の徹底に努める。

2. 経営目標の達成状況と自己評価

11期つづいた単年度黒字が、当期は達成できなかったこと、放射性セシウムの風評被害が依然としてつづいていることから、平成25年度までの累損解消は困難となった。

しかし、平成24年度豚と畜7千頭、平成25年度からは年間2万頭の増頭が見込めることから、事業成果指標の改善を図り、健全な経営体質の維持に努める。

<顧客満足度調査の結果を受けて実施する取組>

調査を継続し、消費者のニーズの把握に努める。

4 総合評価(計算書類等の資料による評価)

I 概ね安定した経営内容

II 一層の努力を要する経営内容

- ・放射性物質による畜産物への影響及び風評被害により、経常収入が693百万円減少した。全頭検査の実施等の生産コストの増加により、売上総利益率が0.5%悪化したことに加えて、光熱費増加に伴う経常支出増加により、経常損失10百万円を計上した。
- ・平成24年度は予算上、経常損失から一転して経常利益54百万円計上を目指す。